



株主の皆さまへ

第5期 株主通信

(中間期) 2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日

Contents

- 01 ごあいさつ
- 02 損保ジャパン日本興亜ホールディングスへ
- 03 トップインタビュー
- 特集 グループ事業紹介
 - 05 損害保険事業
 - 07 生命保険事業
 - 09 海外保険事業／金融サービス事業

- 10 CSRの取組み
- 11 連結財務ハイライト
- 12 財務ハイライト
- 13 会社概要／役員／ホームページのご案内
- 14 株主メモ／株式の状況

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

証券コード：8630

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第5期中間期株主通信をお届けいたします。
ご覧くださいますようお願い申し上げます。

2014年12月

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社
取締役社長 (グループCEO) 櫻田 謙悟



グループ経営理念	損保ジャパン日本興亜グループは、お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献します。
グループ行動指針	お客さまに最高品質のサービスをご提供するために 1. 一人ひとりがグループの代表であるとの自覚のもと、お客さまの声に真摯に耳を傾け、行動することに努めます。 2. 自ら考え、学び、常に高い目標に向かってチャレンジします。 3. 「スピード」と「シンプルでわかりやすく」を重視します。 4. 誠実さと高い倫理観をもって行動します。
目指す企業グループ像	真のサービス産業として、「お客さま評価日本一」を原動力に、世界で伍していくグループを目指します。

グループスローガン

First

社員一人ひとりがグループの代表であるとの自覚のもと、スピードとチャレンジを大切にし、
真っ先に一歩を踏み出す姿勢を表現したものです。
経営理念等の実現に向け、グループ一丸となって取り組んでいきます。

損保ジャパン日本興亜ホールディングスへ

損保ジャパン日本興亜の誕生

株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社は、2014年9月1日に合併し、損害保険ジャパン日本興亜株式会社となりました。
当社は、両社の合併と同時に、社名を損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社に、グループ名を損保ジャパン日本興亜グループにそれぞれ変更しました。



グループの概要

当グループは、国内損害保険事業を中心に、国内生命保険事業、海外保険事業などさまざまな事業を展開しています。



※SOMPOホールディングスは当社およびグループの略称です。

Q 2014年度の業績動向についてお聞かせください。

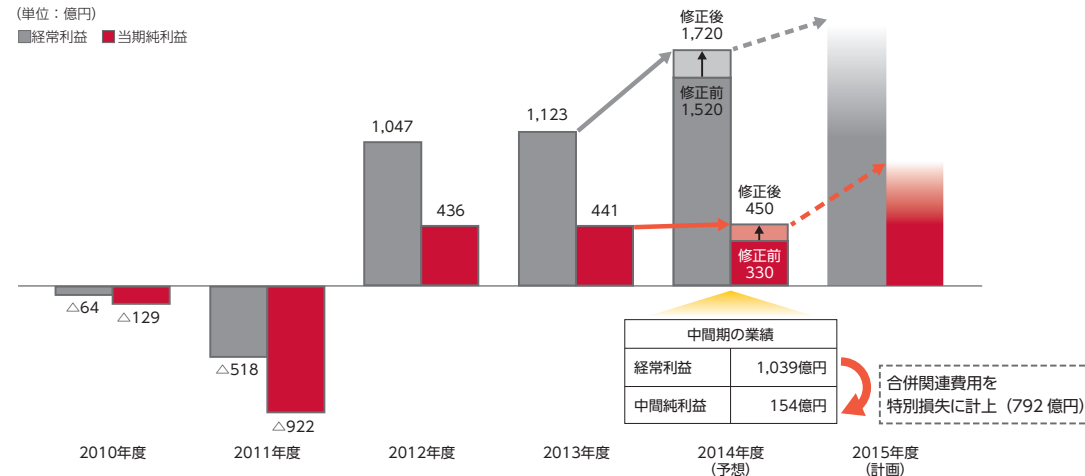
A 2014年度中間期は、自動車保険を中心に国内損害保険事業の収支改善が進展するなど全体として順調に進捗しました。この結果、中間期の経常利益は1,039億円と、前中間期より502億円の増益となりました。

一方、損保ジャパンと日本興亜損保の合併に伴う費用792億円などを特別損失として計上したことにより、中間純利益は154億円と、前中間期より137億円の減益となりました。

これらの中間期の実績や市場環境を踏まえ、11月に2014年度の通期業績予想を上方修正しています。修正後は、経常利益1,720億円（200億円増加）、当期純利益450億円（120億円増加）となる見通しです。



経常利益・当期純利益の推移



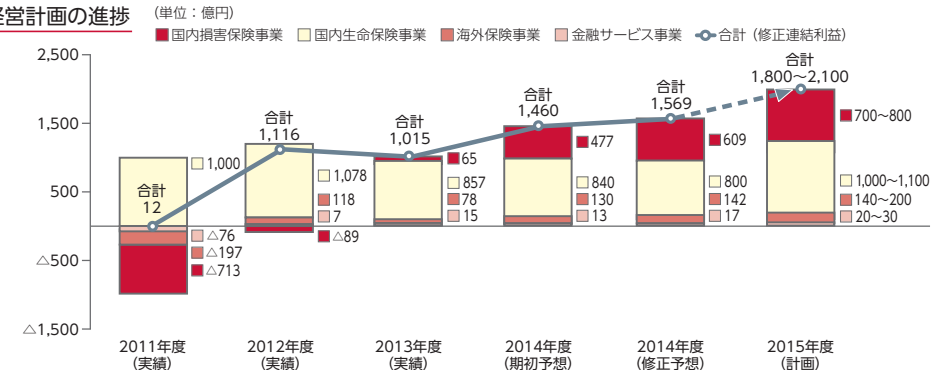
Q 経営計画の進捗状況についてお聞かせください。

A 国内損害保険事業において損保ジャパンと日本興亜損保の合併が計画通り完了したほか、国内生命保険事業、海外保険事業も着実に計画に沿って進捗しています。

2014年度については、通期業績予想の上方修正に伴い、経営計画の数値目標である修正連結利益も期初予想を109億円上回る1,569億円となる見通しです。

計画最終年度である2015年度の数値目標達成に向けて、引き続き国内損害保険事業の収益性改善に加え、国内生命保険事業、海外保険事業を中心とした成長戦略の加速に取り組みます。

経営計画の進捗

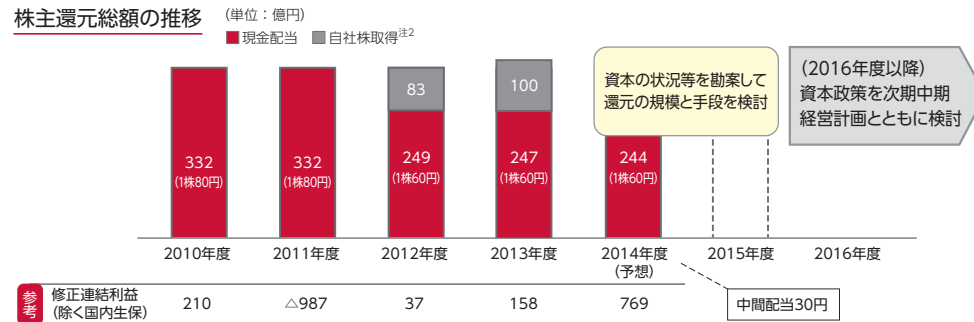


Q 株主還元についてお聞かせください。

A 2014年度も安定配当を堅持し、1株当たり年間60円（中間・期末それぞれ30円）の配当を行うとともに、経営環境、資本の状況および当社株価水準等に応じた機動的な自社株取得を検討します。

引き続き、総還元性向50%^{注1}を中期的な目標としています。

株主還元総額の推移



注1 総還元性向：(現金配当+自社株取得) / 修正連結利益 (国内生保事業を除く)
 注2 2012年度および2013年度の業績に対する自社株取得の実行は、それぞれ2013年度および2014年度。



損保ジャパン日本興亜

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
取締役社長 二宮 雅也



9月に発足した当社は、損害保険会社単体としては、国内で最も収入保険料が大きい会社となります。

当社は、規模だけでなくサービス品質でも業界をリードし、トップレベルの事業効率と収益性を安定的に維持するとともに、損害保険事業を核として、お客さまの安心・安全・健康を支援する先進的なサービスを提供することで、真のサービス産業に進化していくことを目指していきます。

さらに、名実ともに国内トップの保険会社となることは、最もお客さまに評価される損害保険会社になることと同義と考え、「お客さま評価日本一/No.1」を最重要の経営戦略目標と位置づけ、早期に実現すべく全社を挙げて取り組んでいきます。

これらを通じて当社は、グループの中核会社としてグループ全体を牽引する最大のエンジンの役割を果たし、持続的な成長を実現していきます。

格付け情報	
Standard & Poor's 【保険財務力格付け】 A+	Moody's 【保険財務格付け】 A1
格付投資情報センター (R&I) 【発行格付け】 AA-	日本格付研究所 (JCR) 【保険金支払能力格付け】 AA

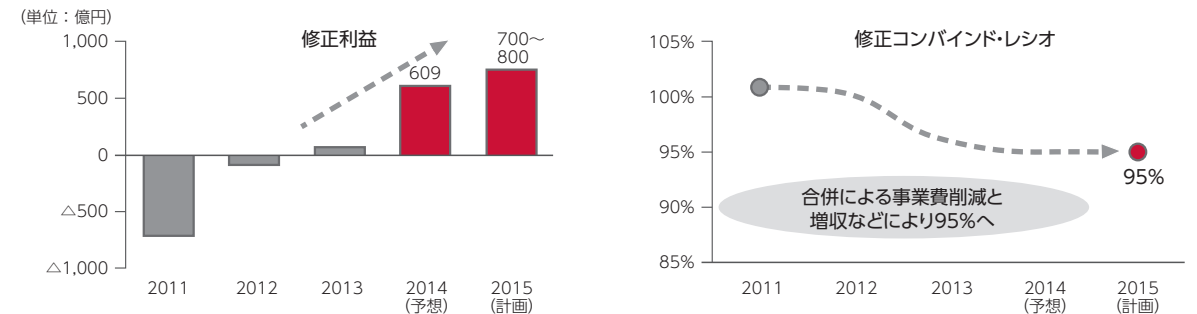
(2014年9月30日現在)

Q 経営計画達成に向けた戦略のポイントについてお聞かせください。

A 当社は、最重要戦略である「お客さま評価日本一/No.1」の実現に向けて、「お客さまの声・期待」を品質向上の原点に位置づけ、「お客さまの期待を上回るサービス」を継続的に提供していきけるよう努めていきます。

また、徹底した事業効率の追求と安定した収益基盤の構築を重要な戦略の柱として、合併効果による事業費削減、自動車保険を中心とした主力商品の収益性改善などを着実に進めていく方針です。

経営計画最終年度である2015年度には、保険事業の収益性を示す指標である修正コンバインド・レシオ^(注)は95%水準、国内損害保険事業における修正利益は700億円から800億円水準を達成する見込みです。



(注)修正コンバインド・レシオとは
コンバインド・レシオは正味損害率と正味事業費率の合計値であり、損害保険における収益性を示す指標です。
修正コンバインド・レシオは以下の前提で計算しています。
・合併一時コストを計算過程から除外
・各年の自然災害影響は380億円
・自賠責保険を除く

損保ジャパン日本興亜の商品ラインナップ

お客さまニーズにあわせた新たな補償内容やサービスを提供するとともに、商品ブランドを「THE (ザ)」シリーズに統一することで、わかりやすい商品ラインナップを実現しました。

新商品ブランド「THE (ザ)」シリーズという名称には「お客さまの生活に寄り添い一番の安心を提供できる存在となり、お客さまにとってかけがえのない保険をお届けしたい」という思いが込められています。

個人用自動車保険
THE クルマの



傷害総合保険
THE みんなの



個人用火災総合保険
THE 住まいの **THE** 会社の



年金払積立傷害保険
THE 年金積立



● 損保ジャパン日本興亜の商品の詳細はこちらからご覧いただけます ➡ <http://www.sjnk.co.jp/>



損保ジャパン日本興亜 ひまわり生命

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社

取締役社長 熊野御堂 厚



当社は、2014年9月1日から「損保ジャパン日本興亜」という統一されたブランドを社名に用いることで、これまで以上にグループの総合力をお客さまに訴求できるようになりました。

グループの中核生命保険会社として、お客さまに魅力ある商品をご提供することで、一人でも多くの皆さまがグループのファンになっていただけるように、取り組んでいきます。保障内容のさらなる充実と保険料の低廉化の両立を実現した医療保険の新商品『新・健康のお守り』は、申込件数が発売から6か月弱で16万件を突破しており、皆さまから高い評価をいただいています。

生命保険は、生涯にわたって、お客さまの安心・安全・健康を守るお手伝いのできる事業です。これからも、お客さまに最高品質の安心とサービスをご提供することにより、お客さまから信頼をいただき、選ばれ続ける生命保険会社を目指していきます。

格付け情報

Standard & Poor's 【保険財務力格付け】 A+	格付投資情報センター(R&I) 【保険金支払能力格付け】 AA-
--	---

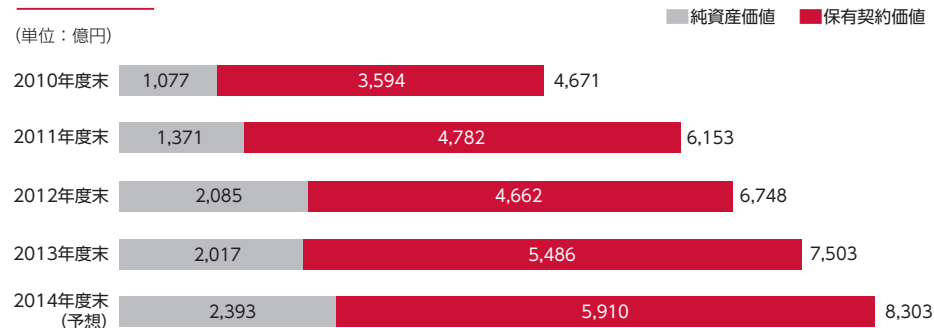
(2014年9月30日現在)

Q 経営計画達成に向けた戦略のポイントについてお聞かせください。

A 当社は、損保ジャパン日本興亜の損害保険代理店を主力の販売チャネル網として、医療保険・収入保障保険など収益性の高い保障性商品の販売に注力する戦略により、効率と収益を伴った成長を実現してきました。この結果、MCEV (P12参照) は順調に増加しています。

MCEVの推移

(単位：億円)



損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の商品ラインアップ

お客さまに最適なプランをお選びいただけるよう、お客さまの視点で、独自性あふれる各種商品をご提供しています。

<p>新・健康のお守り (医療保険)</p>	<p>勇気のお守り (がん保険)</p>	<p>家族のお守り (収入保障保険)</p>	<p>一生のお守り (終身保険)</p>
-----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

(参考) 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の商品は各方面で高い評価をいただいています。

『新・健康のお守り』… 医療保険ランキング1位 (保険完全ガイド「最強の保険」/2014年10月 晋遊舎)

『家族のお守り』…… 死亡保険総合ランキング1位、収入保障保険ランキング1位
(別冊宝島1934「よい保険・悪い保険 2013年版」/宝島社)

● 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の商品の詳細はこちらからご覧いただけます ➡ <http://www.himawari-life.co.jp/>

当グループは、欧州、中東、北米、中南米、アジア、オセアニア、アフリカに海外ネットワークを有しています。保険引受業務ほか、事故対応、リスクエンジニアリングなどのサービスを提供しています。

欧州					
英国	ドイツ	スペイン	ベルギー	フランス	アイルランド
オランダ	ガーナ	ロシア	スイス	イタリア	
* Sompō Japan Nipponkoa Insurance Company of Europe Limited(ロンドン) * NIPPONKOA Insurance Company (Europe) Limited(ロンドン) * NIPPONKOA Management Services (Europe) Limited(ロンドン) * Canopus Group Limited(セントピーターポート) など					

北米	
米国	カナダ
* Sompō Japan Nipponkoa Holdings (Americas) Inc. (デラウェア) * Sompō Japan Insurance Company of America(ニューヨーク) など	

中南米		
メキシコ	ブラジル	バミューダ
* Yasuda Maritima Seguros S.A.(サンパウロ) * Yasuda Maritima Saude Seguros S.A.(サンパウロ) など		

中東・アフリカ		
トルコ	アラブ首長国連邦	南アフリカ共和国
* Sompō Japan Sigorta A.S.(イスタンブール) など		

アジア・オセアニア											
中国	マレーシア	カンボジア	韓国	インドネシア	インド	タイ	ミャンマー	ベトナム	シンガポール	フィリピン	オーストラリア
* Sompō Japan Nipponkoa Insurance (China) Co. Ltd.(大連)			* Sompō Japan Nipponkoa Insurance Company Limited(香港)		* Berjaya Sompō Insurance Berhad(クアラルンプール)		* Tenet Sompō Insurance Pte. Ltd.(シンガポール) など				

お客さまの資産形成に関するサービスを提供するアセットマネジメント事業や、ロードアシスタンスサービスなどを提供するアシスタンス事業、お客さまのリスクマネジメント活動を支援するリスクコンサルティング事業、健康維持・増進やメンタルヘルス対策に関するサービスを提供するヘルスクエア事業、確定拠出年金事業など、保険事業の枠を超えたビジネスフィールドの拡大を図っています。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

プライムアシスタンス

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント

株式会社 全国訪問健康指導協会

損保ジャパン日本興亜ヘルスクエアサービス

損保ジャパン日本興亜DC証券

○ グループ事業の詳細はこちらをご覧くださいませ ➡ <http://www.sompo-hd.com/group/business/>

当グループは、事業を通じて培った経験やノウハウを活かして、社会の安心・安全・健康に資する商品・サービスを提供することで、レジリエントで持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

2014年度からは、防災プロジェクトやインドネシアにおける交通安全プロジェクトを新たにスタートさせました。また、東日本大震災復興支援の一環として、宮城県美術館において「ゴッホの《ひまわり》展」を開催しました。

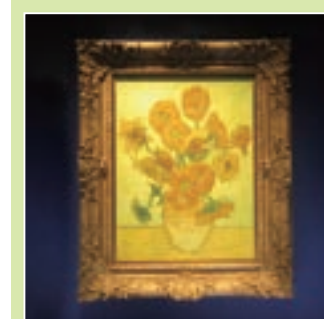
○ 当グループのCSRの取組みはこちらをご覧くださいませ ➡ <http://www.sompo-hd.com/csr/>



体験型防災ワークショップ



インドネシアでの交通安全プロジェクト



東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展

SRIインデックス (社会的責任投資指数) への組入れ

当社は世界の主要なSRIインデックスの構成銘柄に組み入れられています。引き続き、非財務情報を含めた透明性の高い企業情報を積極的かつ公正に開示していきます。(2014年11月1日現在)



損保ジャパン日本興亜ホールディングス

	2013年度中間期	2014年度中間期
経常収益	14,596	16,062
保険引受収益	13,550	14,948
正味収入保険料	11,189	12,444
生命保険料	1,339	1,343
資産運用収益	981	978
その他経常収益	64	136
経常費用	14,059	15,023
保険引受費用	11,670	12,669
正味支払保険金	6,405	7,304
資産運用費用	123	32
営業費及び一般管理費	2,181	2,264
その他経常費用	84	56
経常利益	537	1,039
中間純利益	291	154
総資産	93,944	97,891
純資産	13,865	15,364

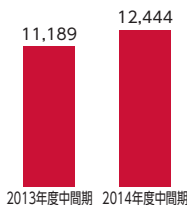
正味収入保険料・生命保険料

正味収入保険料は、前中間期に比べて1,255億円増加(+11.2%)して1兆2,444億円となりました。
また、生命保険料は、前中間期に比べて4億円増加(+0.3%)して1,343億円となりました。

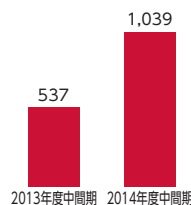
経常利益・中間純利益

経常利益は、損保ジャパン日本興亜、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命ともに増益となったことから、前中間期に比べて502億円増加して1,039億円となりました。
一方、中間純利益は、損保ジャパン日本興亜において合併関連費用を含む特別損失849億円を計上したことを主因として、前中間期に比べて137億円減少して154億円となりました。

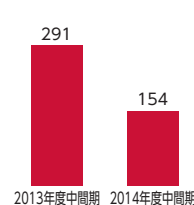
正味収入保険料 (単位:億円)



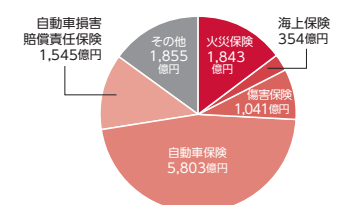
経常利益 (単位:億円)



中間純利益 (単位:億円)



正味収入保険料の種目別内訳 (2014年度中間期)



損保ジャパン日本興亜

	2013年度中間期	2014年度中間期
正味収入保険料	10,363	10,974
(除く自賠責)	8,907	9,432
正味損害率	63.9%	65.6%
(除く自賠責)	60.4%	63.2%
正味事業費率	32.5%	32.0%
(除く自賠責)	34.4%	33.9%
コンバインド・レシオ	96.4%	97.6%
(除く自賠責)	94.8%	97.1%
保険引受利益(△は損失)	△ 67	256
資産運用粗利益	566	724
経常利益	418	974
中間純利益	199	116
総資産	70,752	69,975
純資産	12,563	13,843
単体SM比率(2014年9月30日)		699.7%

*2014年8月以前の数値は、損保ジャパンと日本興亜損保の合算値です。

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命

	2013年度中間期	2014年度中間期
保有契約高	196,816	206,359
新契約高	12,939	11,966
保有契約年換算保険料	3,043	3,127
新契約年換算保険料	150	173
保険料等収入	1,824	1,852
保険金等支払金	833	889
基礎利益	74	139
経常利益	73	150
中間純利益	33	79
総資産	20,350	21,952
純資産	933	1,182
単体SM比率(2014年9月30日)		1,684.9%
MCEV(2014年3月31日)		7,503

※保有契約高・新契約高・保有契約年換算保険料・新契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計です。



用語解説

SM (ソルベンシー・マージン) 比率とは?

保険会社の健全性を見るうえで重要な指標のひとつで、通常の予測を超える大災害が発生した場合に、保険金を支払う能力があるかどうかを判断する数値です。一般的に200%以上なら保険金支払能力は問題ないとされています。

EV (エンベディッド・バリュー)、MCEVとは?

損益計算書等の会計情報を補完するものとして、欧州やカナダでは生命保険会社の価値・業績を評価する有力な指標としてEV (エンベディッド・バリュー) が使用されています。当社が重視するMCEVは市場統合的エンベディッド・バリューの略称であり、EVを金融市場における金融商品の価格と整合的な評価となる手法を用い、対象事業に係るリスクについて十分に考慮のうえ、「企業の純資産価値」と「保有契約からもたらされる将来利益の現在価値」の合計として計算したものです。

■ 会社概要 (2014年9月30日現在)

会社名 …… 損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社
(英文表記: Sampo Japan Nipponkoa Holdings, Inc.)

本店所在地 …… 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号

設立日 …… 2010年4月1日

資本金 …… 1,000億円

従業員数 …… 36,820名 (連結)

事業内容 …… 損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに附帯する業務

■ ホームページのご案内

ホームページを通じて、個人投資家の皆さまに当社をよりご理解いただくための情報をお届けしています。



<http://www.sampo-hd.com/>

■ 役員 (2014年9月30日現在)

代表取締役会長兼執行役員	二宮	雅也
代表取締役社長兼執行役員 (グループCEO)	櫻田	謙悟
代表取締役副社長兼執行役員	辻	伸治
取締役常務執行役員	竹本	尚一朗
取締役常務執行役員	江原	茂
取締役執行役員	西澤	敬二
取締役執行役員	磯谷	隆也
取締役	熊野御堂	厚
取締役(社外取締役)	野原	佐和子
取締役(社外取締役)	遠藤	功
取締役(社外取締役)	村田	珠美
取締役(社外取締役)	スコット・トレバー・デバイス	
執行役員	細井	寿人
執行役員	田中	順一
執行役員	小嶋	信弘
執行役員	佐藤	史朗
執行役員	藤倉	雅人
執行役員	吉野	隆
常勤監査役	吉満	英一
常勤監査役	高田	俊之
監査役(社外監査役)	椿	愼美
監査役(社外監査役)	笠間	治雄
監査役(社外監査役)	柳田	直樹

事業年度 …… 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当および議決権の基準日 …… 3月31日 (中間配当を実施する場合の基準日は9月30日)

単元株式数 …… 100株

公告の方法 …… 電子公告により行います。(http://www.sampo-hd.com/)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 …… 東京証券取引所 (市場第一部)

株主名簿管理人 …… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

郵便物送付先および各種お問い合わせ先 …… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話: 0120-288-324 (通話料無料)

特別口座の口座管理機関 …… みずほ信託銀行株式会社および三菱UFJ信託銀行株式会社
※お問い合わせ先等につきましては、裏表紙をご覧ください。

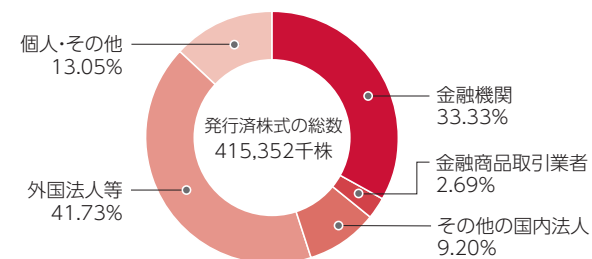
■ 株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数 …… 1,200,000,000 株

発行済株式の総数 …… 415,352,294 株

株主数 …… 48,036 名

所有者別株式分布状況



■ 株式に関する各種手続き

- 受取がお済みでない配当金のお受け取り、支払明細等の発行については、株主名簿管理人にお問い合わせください。なお、配当金のお支払期間は支払開始から3年間となっておりますので、お早目にご請求ください。
- 住所変更、配当金受領方法の指定および単元未満株式の買取・買増などの各種手続きについては、証券会社等に口座をお持ちの株主さまはお取引のある証券会社等にお問い合わせください。なお、証券会社等に口座がなく、特別口座で管理されている株主さまは、裏表紙「特別口座の口座管理機関」にお問い合わせください。

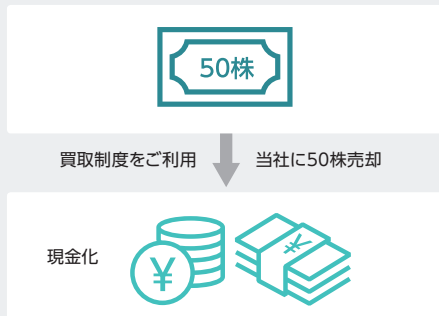
■ 単元未満株式の買取・買増制度のご案内

単元未満株式については、買取制度または買増制度をご利用いただくことができます。

● 単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。

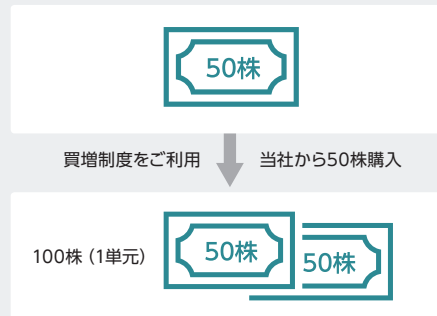
具体例 50株をお持ちの株主さま



● 単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買い増して、単元株式とする制度です。

具体例 50株をお持ちの株主さま



■ 特別口座の口座管理機関

特別口座に記録されている株式は「単元未満株式の買取・買増」を除いて売買ができませんので、お早めに証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設していただき、当該口座へ振替手続きを実施していただきますようお願いいたします。

詳細につきましては、以下表の「特別口座の口座管理機関」までお問い合わせください。

	[旧 損保ジャパンの株主さま]	[旧 日本興亜損保の株主さま]
特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-288-324 (通話料無料)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料)

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号
TEL. 03-3349-3000 (代表)



この株主通信は環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。